

びざん



JA NEWS 2022 NO.633

表紙写真は、赤坂伸一さん(62)、妻美保さん(62)、長男耕輔さん(38)と妻比呂子さん(36)とその3人の子もたちです。家族4人で百合の生産を行い、当JA管内随一の作付面積を誇り、主に「シベリア」を施設面積58坪で栽培しています。父晴雄さん(85)が長年、イチゴの施設栽培をしており、伸一さんが就農してからは、晴雄さんの勧め等もあり、徐々に百合への転作を行いました。

大学卒業後に就農した耕輔さんは、幼い頃から父が楽しんで農業を営む背中を見て育ち、自分も同じ道を歩むことに、迷いも違和感も全くなかったそうです。親子で農業を行い16年が経ちます。

家族の役割分担として、伸一さんが、消毒、畝立て、選別。耕輔さんはパイプ、支柱立て、堆肥の投入、ユニボ等の機械類全般作業を担当し、定植、収穫、出荷調整作業は全員で行っています。

家族農業の魅力は、耕輔さんの幼い3人の子どもたちの成長を日々みながら見守り、また、最も身近な存在同士で支えあえることです。メリットが遥かに上回るという円満な赤坂家。

「家族経営協定」を締結し、折々で些細なことでも話し合っ決めてスタイルを確立しており、「家族で10年、20年先の目標を決めて、将来の方向性の認識を統一する。そして目標の達成のために、この1、2年ですべきことを割り出して、実践していく。それを繰り返し行っている。」と伸一さんが話してくれました。

現在は、伸一さんから耕輔さんへの3年後の経営移譲に向けて、徐々に引継ぎが行われています。耕輔さんは、「父が現役を退くまでは、父のしたい、父の理想の農業を支えたい。学ぶことはまだまだ多い。知識や経験を一つ一つ固めて積み上げ、振り返ったときに、きれいな足跡だと思えるように、しっかりと前に進みたい。」と語られました。

青壮年部がとくしまマルシェに出店

11月28日、JA徳島市青壮年部 選手達矢部長、南井上支所 選手宏紀さん、川内支所 細川真司さん、鈴木隆大さん、島藤託也さん、堀猛さんは、しんまちポードウォークで開催されたとくしまマルシェに出店し、消費宣伝を行いました。

今回のマルシェでは、四国放送テレビ「ゴジカル」のJA共済プレゼンツで毎週木曜日に紹介されている「笑味ちゃん通信」のコーナーにおいて、とくしまマルシェとコラボレーションした「笑味ちゃん食堂」の出店ブースが設けられ、県内8JAが参加しました。当JAのブースでは、トマト、ほうれんそう、ブロッコリー、長ねぎ、甘藷、レンコン、カリフラワー、柚子、農産工場の加工品がお手頃価格で販売され、来場者に人気を集めました。





JA徳島市は12月2日、とくしま動物園 北島建設の森に東部管農経済センター管内の甘藷のツルを提供しました。
管内では、甘藷を収穫した際、大量のツルが廃棄されていますが、色々利用する方法を模索したところ、栄養価の高い甘藷のツルを草食動物の餌として利用できれば、動物園にとってもメリットになると実行しました。

現在、園では獣医師の指導のもと、慎重に草食動物への摂餌試験が行われています。
今回の試験結果を踏まえ、今後、産地で廃棄している他の農産物等で供給可能なものを、定期的に動物園に提供して、有効活用していただくことで、相互の協力のもと、食品ロス解消に繋げることができればと検討しています。
営農経済部 井河部長は、「元来の生態系をベースにした、自然の中で有機物を循環させる地球環境にやさしい『循環型農業』の実現で、持続可能な社会を地域全体で目指したい。」と話しています。

◀写真は、園の食糧庫で濱園長と話し合う井河部長



JA徳島市は12月12日、こどもみらい農園にて、自然保護活動団体あおいろが主催するジャガイモ掘り体験を地域の子どもたちを対象に農業体験と地域連携活動の一環として開催し、子どもたち約20人が集まりました。
会場となった「こどもみらい農園」は当JAが所有する徳島市川内町の直売所跡地16㎡を農地として「自然保護団体あおいろ」へ無償で提供している活動施設です。今回の体験では子どもたちが9月初旬にキタアカリの植え付けとマルチ張りをしてきた圃場約2㎡で収穫を行いました。子どもたちは、土から出てくるジャガイモに目を輝かせながら、夢中になって収穫を楽しんでいました。
収穫したジャガイモは児童福祉施設に提供し、また体験を行った子どもたちも各家庭に持ち帰りました。
小角久雄参事は、「植え付けから収穫までの農業体験によって、未来を担う子どもたちに、農業への興味を持ってもらえる環境づくりをしていくことが大切であり、今後もJAとして全面的に協力を継続していきたい。」と話しました。



多家良支所青壮年部は12月14日、徳島市立宮井小学校の餅つき大会に参加しました。5年生の児童を対象に初播きから始まり、田植え、9月下旬には稲刈りの体験学習が行われ、もち米の収穫をしました。その収穫したもち米、約35kgが使用され、全校児童89名が毎年恒例の餅つきをしました。
児童たちが楽しみにしている恒例行事ということもあり、手の消毒、さらにマスク、ゴム手袋を着用し、学年ごとに餅つきと試食を分散させ、コロナウイルス感染予防対策を徹底して行いました。
最初に児童たちは、青壮年部員の餅つきを見学し、威勢の良い掛け声と息の合った杵さばきの迫力に見入っていました。低学年の児童は杵の重さに苦労しながらも、べったん、ぼったんと力いっぱい餅をついていました。
できあがったつきたての餅に、きなこやあんこ、醤油をつけ、自分達の好みで食べた児童は、「自分達が収穫したもち米がお餅になりすごく美味しく感じる。何個も食べられそう。」と農業の醍醐味と一足早いお正月気分を味わいました。
多家良支所青壮年部 高曽根督也部長は、「初播きから始め、一から食べ物になるまでのプロセスを体験してもらい、食べ物のありがたみや、農業の素晴らしさを伝えられるように活動を続けたい。」と話されました。



JA徳島市は菜の花の本格出荷に向け、12月16日、菜の花統一部会片山悦二部会長の指導のもと検査員10名を対象に、中央集出荷場にて目慣らし会を開催しました。今年度のお荷は11月7日から始まっており、夏の長雨による播種遅れ、秋の干ばつなどの影響もあり、現時点では、前年に比べ出荷量はやや少なくなっています。
現在、部会では生産者226人が41%を栽培。手作業でラベルを巻き、150gずつにして出荷する「束出荷」が伝統となっています。菜の花を束にする出荷調整作業は、個々によって多様であるため、品質をさらに統一することが課題とされています。
市場からは、束が芸術品のように揃っていると高く評価され、県外から視察依頼もある産地であるため、さらなる品質維持に向け、束にしたときの高さを揃え、色目を揃えることの徹底を生産者へ促す等、検査時の注意点が共有されました。
片山部会長は、「すべての生産者に袋、バック入りにはない束出荷の価値を再認識していただき、作業に取り組んでもらいたい。」と話しています。

アグリサポートセンターから水稻苗の苗乗せ台（鉄枠）の返却についてのお願い

アグリサポートセンターで保有しております苗乗せ台（鉄枠）について、本来、拠点ハウス間やセンター・支所間の苗移動等を目的に使用しておりますが、一部に組合員さんの要望があり、苗運搬に貸出も行っております。しかしながら水稻苗注文者が年々増加し苗乗せ台の需要が高まっております。こういった状況の中、苗乗せ台の増数は行っておりますが、保有数には限りがございます。今後、苗乗せ台の回転が悪くなりますと、引渡しに円滑に出来なくなる恐れがあります。使用後は速やかに返却をしていただくよう協力お願いいたします。
また、返却先はご足労ですがアグリサポートセンターまでお願いします。

「農業者等との意見交換会」開催について

徳島市農業委員会では、今後の農業施策につなげるため、農業経営の問題点や課題、農業施策等について話し合う「農業者等との意見交換会」を毎年開催しています。

今回は、「コロナ禍での農産物物流通と今後の販売戦略」をテーマとして、講演・事例報告と意見交換を行いますので、皆さんふるってご参加ください。

日時 令和4年2月15日（火）14：00～15：40

場所 徳島市役所13階 大会議室

内容 講演「マーケットの変化に即した農産物物流通の取り組み」
AGSN 代表 野崎 和美 氏
【元 J A全農参事（園芸・営業開発・フードマーケット担当）】

事例報告「コロナ禍での『とくしまブランド推進機構』の活動」
（公財）徳島県農業開発公社 とくしまブランド推進機構
副代表 村上 公治 氏

質疑応答・意見交換等

定員 70人程度

申し込み 参加ご希望の方は、2月8日（火）までに地域の農業委員・農地利用最適化推進委員、もしくは事務局までご連絡ください。

※ 駐車場が混み合いますので、公共交通機関をご利用いただくか、乗り合わせてご参加ください。

※ 新型コロナウイルスの感染状況によっては中止になる場合があります。

連絡先 徳島市農業委員会事務局 農政係 TEL 621-5394 FAX 621-5196



市況・営農情報のメール配信について

ブロッコリー、ほうれんそう、かんしょ等の一部品目についてメール登録をいただいている部会員へ市況メール、営農情報を配信しています。まだ未登録の方で、メール配信を希望される部会員の方は、是非ご登録ください。詳しくは、お近くのセンターまでお問い合わせください。



連載

～営農指導兼経済渉外員の活動をご紹介します

「大切なことは、話をじっくり聞くこと。」



第6回：北部営農経済センター

七條 法千 営農指導兼経済渉外員

不動地区管内担当の七條 法千営農指導兼渉外員は、当 J A管内で渉外員としてのキャリアが一番長く、地域の方々からの要望にオールマイティに対応し、親しまれています。

勤続 20 年。毎日、組合員の方々への訪問活動や圃場に足を運びます。組合員の方々からの信頼も厚く、多種多様な内容の問い合わせや、相談に対応しています。

趣味は野球。長年、友人と結成したチームに所属し、ピッチャーを務め、毎月 2 回ほど試合を行っています。今年から健康維持を目指し、自宅筋トレも始めたそうです。

業務において心がけていることは、「組合員の方々との相談に対して、できる限りすぐに回答すること。自分で解決でき

なければ、他の職員や専門機関に相談すること。入組当初に教えられた、『知りません』、『分かりません』は言わないことを常に念頭に置き、初心を忘れず活動することを心がけている。また、思い込みや、こうしないといけないという意識を捨てて、相手の話をじっくり聞いて、要望を理解することを大切にしている。」とのこと。

「会話を通してのコミュニケーションを大切にし、組合員の方々からの信頼に応えられるように努めたい。さらに、組合員の方々のニーズを汲み取り、自分なりの『型にはまらない』発想で、農業所得向上に繋がるように活動していきたい。」と今後の展望を話しました。



▲不動支所管内の武市友樹さんのブロッコリーの圃場を訪問し、農業についての営農情報をお届けし、説明を行いました。

健康 百科

「新型コロナの第6波について」

みなさん、こんにちは。徳島往診クリニックの吉田です。旧年中はご愛読ありがとうございました。本年もどうぞよろしく申し上げます。

前回取り上げたオミクロン変異株が発見されたのは、昨年11月11日アフリカ南部においてでした。その後南アフリカで同変異株による世界初の大規模流行が発生しましたが、その記録からはオミクロン株流行期での死亡は全入院患者の4.5%にすぎず、これまでの21%を大きく下回っており集中治療室への入院も少なく、入院期間も「大幅に短い」ということが確認されています。そのため、オミクロン株に関しては「感染力は強いが、重症化しにくい」との印象が一般の方に流布しています。しかしながら、WHOは1月6日世界各地での新型の急激な感染拡大を受けて、オミクロン株を「軽症と分類されるべきでない」と警鐘を鳴らしました。曰く、オミクロン株と風邪は別物であり、それほど重症にならないことは判っているがかついて「軽症」とはいえず、特にワクチン未接種の人や高齢者、基礎疾患のある人が重症化する傾向はこれまでと変わらないと指摘しています。

1月7日に新たに確認された国内感染者は6,214人で前週の同じ曜日から5,708人の増加となっています。特に全国に先駆けて第6波が始まった沖縄県では、1月7日の感染者数は1,414人と前週の同じ曜日の44人から爆発的に増えています。また、オミクロン株の占める割合は12月26日に15%だったのが、12月30日には97%になっていると報告されていて、数日で沖縄ではほとんどオミクロン株に置き換わったと考えられています。また感染者の年齢内訳を見ると20代が半数以上を占めていて、沖縄県の医師は職場・会食で感染が拡大していると考えています。ちなみに全年齢で

徳島往診クリニック 吉田大介

のブレイクスルー感染（ワクチン接種済みの方の感染）の陽性者全体に占める割合は4割弱と決して少なくありません。

1月4日時点での厚生労働省のアドバイザリーボードに提出された資料では675人（主にオミクロン株）が療養していますが、そのうちの92.3%が無症状か軽症です。酸素投与が必要な人は3.7%で重症者は0となっています。これだけを見るとやはり重症度が低いように思えますが、現在の療養者の年齢分布が特に若い層に偏っていることに注意が必要です。お正月での家族団らんの後のこれから、高齢者に感染が拡大していくと思われ、重症度に違いが出てくる可能性があります。既に大流行している欧米では高齢者も重症者は少ない模様ですが、欧米では3回目のブースター接種が進んでいるのに対して、日本ではほぼ0です。そのため、日本ではブースター接種の済んでいない高齢者の重症化が顕著になるかもしれません。

感染力を増したオミクロン株ですが、たとえ空気感染が懸念される事態となっても不織布マスクを正しく着用し、3密を避け、手洗い・換気・アルコール消毒等の感染対策をしっかり継続することが最大の防御策であることは変わりません。またメルク社が開発した新型コロナウイルスの経口治療薬である「モルヌピラビル（商品名 ラゲブリオ）」が、12月24日、日本国内でも特例承認されました。モルヌピラビルは、1回4カプセル（800mg）1日2回×5日間飲み切となります。特定の薬局に限定されますが、COVID-19と診断した後に院外処方箋を発行すれば、COVID-19患者さんの自宅にモルヌピラビルを郵送してもらった仕組みも可能になるようです。モルヌピラビルの対象は18歳以上であり、妊婦には禁忌です。

作業内容	追加項目又は変更事項	現行料金 (円:税込)	価格変更金額 (円:税込)		備考(条件)
耕耘	深耕含む。	13,200	13,860	10a当	十字耕耘は1.5割増料金とする。
代かき		15,400	16,170	10a当	
耕耘セット		40,700	42,735	10a当	耕耘2回+代かき
畦切りディスク、畦塗り		3,300 ※時間当り	1,100 ※面積当り	10m当り	水漏れ等について、関知致しません。
田植		13,200	13,860	10a当	田植機で植わる範囲まで。手植えは行いません。苗は圃場まで運送しておいて下さい。
収穫		33,000	34,650	10a当	隅刈りは別途作業になります。圃場条件、倒伏程度、雑草繁茂等で割増となります。諸条件及び水稲病気により延期またはお断りする場合があります。収量は補償致しません。
隅刈りなど		3,300	3,465	圃場1枚当	縁刈りも行った場合は2割増料金
乾燥・もみすり		30,800	32,340	10a当	乾燥のみ18,480円 もみすりのみ13,860円 荷造りは30kgのみです。乾燥・もみすりのみで依頼の場合は依頼者が乾燥機投入を行って頂きます。
収穫セット		62,700	65,835	10a当	収穫+乾燥・もみすり 条件は各作業に基づく。
乾燥機投入		11,000	11,550	10a当	グレンコンテナ使用に限る。
ほうれん草播種		11,000	11,000	10a当	種子代別途。4条播きで端は空きます。また圃場条件により発芽不良の場合もあります。種子等は圃場まで準備して頂きます。また播種後は圃場に種子等を置かせて頂きますので依頼者が回収をして頂きます。
枝豆露地播種		11,000	11,000	10a当	種子代別途。2条播きで端は空きます。また圃場条件により発芽不良の場合もあります。種子等は圃場まで準備して頂きます。また播種後は圃場に種子等を置かせて頂きますので依頼者が回収をして頂きます。除草剤散布は不可。
枝豆マルチ播種		16,500	16,500	10a当	種子代別途。2条播きで端は空きます。また圃場条件により発芽不良の場合もあります。種子等は圃場まで準備して頂きます。また播種後は圃場に種子等を置かせて頂きますので依頼者が回収をして頂きます。除草剤散布は不可。
サブソイラー		5,500	11,000	10a当	一方方向に通行。十字方向は2割増料金とする。排水効果等は補償致しません。
プラソイラー		5,500	11,000	10a当	一方方向に通行。十字方向は2割増料金とする。排水効果等は補償致しません。
肥料散布	※側条田植機使用のみ。	3,300	3,465	1剤につき 10a	田植時の側条植での追加料金とします。他、肥料散布は行いません。資材代別途。効果等は補償致しません。
農業・除草剤散布	※水稲初期除草剤投入のみ。	1,650	1,733	1剤につき 10a	水稲箱処理剤散布、水稲初期除草剤投入のみとします。他、農業・除草剤散布は行いません。資材代別途。効果等は補償致しません。
除草モア	※圃場内モアのみ。草丈1m未満の場合	—	11,000	10a当	圃場条件等でお断りする場合があります。フレールモアで作業可能な範囲。
除草モア	※圃場内モアのみ。草丈1m以上2m以内の場合	—	22,000	10a当	圃場条件等でお断りする場合があります。フレールモアで作業可能な範囲。草丈2mを超える場合は料金も含め別途相談もしくはお断りする場合があります。
圃場隅・畦周り草刈り	モアで除草出来ない圃場周囲・畦回りを草刈り機で草刈り。	—	3,300	1人/1時間	圃場条件等でお断りする場合があります。除草モアの付属作業としますので、この作業単体では行いません。
野菜モア等 (ブロッコリー・軟弱野菜)	※圃場内モアのみ。	—	8,800	10a当	圃場条件等でお断りする場合があります。フレールモアで作業可能な範囲。
野菜モア等(上記以外の野菜)	※圃場内モアのみ。	—	11,000	10a当	圃場条件等でお断りする場合があります。フレールモアで作業可能な範囲。

※補足：除草モアで草丈2mを超える場合は別途相談、もしくは、お断りする場合があります。

(条件)

- ※ 申し込み資格は、J A 徳島市の組合員であり、口座引落し契約が締結できている事とし 作業内容は農業生産に帰結するものに限りま。
- ※ 圃場の誤り等を防ぐ為、各種作業開始時は圃場への立ち合い、もしくは圃場への立て札の設置をお願いします。
- ※ ほうれん草播種については播種のみ金額であり農協利用(種子、除草剤、肥料各資材、出荷その他)のご協力をお願いします。
- ※ 作業内容や気象の影響等による土、藁シブ、埃の飛散等を、事前に近隣住民に案内済である事とします。
- ※ 枝豆播種については播種のみ金額であり、除草剤散布は含まれておりません。
- ※ その他作業を希望の方は所属支所に問い合わせ頂き別途協議します。
- ※ 各種作業後の出来具合や収量・発芽・生育等に不都合があっても補償等は致しかねます。
- ※ 条件が悪い場合はお断りする場合があります。

理事会だより(令和3年12月22日)

協議事項

- (1) 令和3年度上半期末監事監査回答書について
- (2) 令和3年度 施設費の補正支出について
- (3) 3億円超の信用の供与について
- (4) 出資口数の一部減口について
- (5) その他

報告事項

- (1) 徳島県による令和3年度常例検査の実施について
- (2) 職制規程 別表2業務分掌表の一部変更について
- (3) 債権回収について
- (4) 理事会決議事項処理状況報告
- (5) 前回総務・当農経済委員会および金融共済委員会の協議内容について
- (6) その他

お詫びと訂正

本誌2022年1月号の表紙において、次の誤りがございました。謹んでお詫び申し上げます、ここに訂正いたします。

訂正箇所	誤	正
表紙写真説明文5行目	小松菜 8アール	小松菜 8アール(作付面積)
同上	ほうれんそう 5.5アール	ほうれんそう 55アール
表紙写真説明文6行目	人参 6.5アール	人参 65アール
同上	枝豆 2アール	枝豆 20アール

島田清弁護士無料法律相談

通常通り開催いたしますが新型コロナウイルスの感染状況によりましては開催できない場合がございます。

- 日時 第3土曜日 9:00~12:00
- 金融共済部へ事前に予約が必要
- 申込先 ☎088-622-8003
- 場所 本所1階金融相談室

賀上延啓税理士事務所の無料税務相談

下記の通り開催予定ですが、新型コロナウイルスの感染状況によりましては、開催できない場合がございますのでご了承ください。

- 日時 2月1日(火)、8日(火)、15日(火) 9:30~15:00
- 総務部へ事前に予約が必要
- 申込先 ☎088-622-6335
- 場所 本所1階ローンセンター